

ほふ

Hofu

しぎかい 市議会

発行／防府市議会

編集／議会広報編集委員会

〒747-8501 防府市寿町7番1号

TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

URL <https://www.city.hofu.yamaguchi.jp/site/sigikai/>

E-Mail gikai@city.hofu.yamaguchi.jp

だより No.64

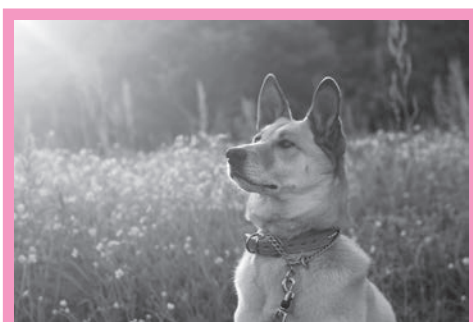
令和4年2月15日



優秀賞「久しぶり！」



優秀賞「あ…！」



優秀賞「予感」

こうこう 高校の活動紹介

ほふ こうとう がっ こう No.4 防府高等学校

書道部は、書道作品の制作に加えて、書道パフォーマンスにも取り組んでいます。書道パフォーマンスは、作品の構成や選曲、振り付けをどのようにするかを部員が話し合いながら時間をかけて作り上げていきます。

写真部は、今年度、全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」に出場しました。コロナ禍のためリモートでの参加でしたが、自分自身と向き合いながら作品を制作する貴重な経験となりました。山口県総合文化祭にも出品し、優秀賞を受賞しました。

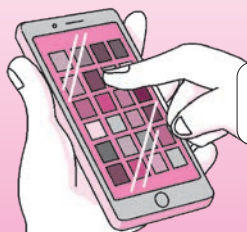


書道パフォーマンス

12月定例議会

議案の概要	 P2～3
副議長挨拶	 P3
議案の賛否	 P3

一般質問	 P4～9
所管事務調査の報告	 P10
会派等名簿	 P11
3月定例議会の予定	 P12



議会中継がスマートフォンで見られます! 防府市議会



令和3年 12月 定例議会

12月定例議会は、11月30日から12月22日までの会期23日間の日程で開催されました。

市長から、「新型コロナウイルス感染症対策について」「第52回防府読売マラソン大会兼第22回日本視覚障がい女子マラソン選手権大会について」「新庁舎の建設について」「防府市公会堂へのネーミングライツの導入について」「国の新たな経済対策への対応について」の行政報告があり、令和3年度一般会計補正予算など、議案17件、選任3件、報告9件、決議1件を審議しました。主な議案等と審議経過の概要についてお知らせします。

「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」はP3をご覧ください。

予算

■令和3年度一般会計補正予算

36億8,872万7千円を増額し、補正後の予算総額を493億5,294万5千円とする予算案が提出され、可決されました。主な事業は次のとおりです。

・新型コロナウイルスワクチン追加接種事業

国の方針に基づき、新型コロナウイルスワクチンの追加接種（3回目）を実施できる体制を整備します。
(1億8,000万円)

・子育て世帯に対する給付金支給事業

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、その影響に苦しんでいる子育て世帯を支援するため、18歳以下の子どもがいる世帯に対し、臨時特別給付金を支給します。
(18億4,000万円)

・住民税非課税世帯に対する給付金支給事業

長らく新型コロナウイルス感染症の影響を受けている世帯に対し、臨時特別給付金を支給します。
(15億2,000万円)

・中小・小規模事業者等総合相談窓口の延長

新型コロナウイルス感染症に関する経済対策の相談などに対応するため、中小企業者等（農林漁業者を含む）を対象とした、ルルサス防府に開設している総合相談窓口を令和4年3月末まで延長します。(300万円)

・プレミアム付商品券発行事業

市民の消費を喚起し、市内経済の回復を後押しするため、プレミアム付商品券を発行します。
(1億7,500万円)

発行総数：8万セット

販売価格：10,000円／セット

購入上限：1人5セットまで

発行内容：1,000円券×12枚（共通券10枚、専用券2枚）
(プレミアム率20%)

〈共通券を利用できる店〉

利用登録される全ての市内店舗

〈専用券を利用できる店〉

利用登録される市内店舗のうち小規模店

利用期間：3か月

(令和4年3月から5月まで)

条例

■開発行為等の許可の基準に関する条例の一部改正

都市計画法施行令の改正に伴い、市街化調整区域内において開発行為等が認められる区域から災害リスクの高い区域を除外するものです。賛成多数により可決されました。
(賛否No.1)

人事

■公平委員会委員の選任

新任 ^{とくなが} 徳永 ^{ちよこ} 千代子 さん（大字上右田）

■固定資産評価審査委員会委員の選任

再任 ^{ふじわら} 藤原 ^{ゆみこ} 由美子 さん（高倉一丁目）

再任 ^{あまもと} 秋本 ^{そのこ} 園子 さん（本橋町）

再任 ^{むらたに} 村谷 ^{まちこ} 真智子 さん（岸津二丁目）

副議長就任挨拶



副議長
藤村 ことえ

令和3年11月30日の12月定例議会において、副議長に就任いたしました。大変身に余る光栄であり、感激しておりますが、また、同時にその責務の大きさを痛感いたしました。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会の生活様式は大きく変化し、私たちを取り巻

く環境はいまだ厳しい状況が続いております。また、少子高齢化対策や住民福祉の充実など、議会の果たすべき役割と責任はますます重要となっており、市民の皆様の負託に十分お応えできますよう、決意を新たにいたしているところでございます。

また、本市の発展と住民福祉の向上のため、市民の皆様からご意見をいただきながら、諸課題の解決に向けて努力をしてまいりたいと在じます。

市民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

一般議案

■財産の取得について

新たな生涯学習の拠点となる施設をルルサス防府に整備することにより、市民の利便性の向上と駅前のにぎわい創出を図るために、ルルサス防府1階部分の一部を購入する契約について、可決されました。

契約相手 (株)周防夢座

契約金額 8,668万5,907円

んでいる子育て世帯を支援するため、現金5万円と5万円相当のクーポン券を支給する事業の補正予算が11月30日に開催された本会議において全会一致で可決されたが、その後の12月15日に政府は全額現金での支給も無条件で認める方針を地方自治体に通知している。

これにより、全国の多くの自治体、本市以外の県内市町も一括または分割により全額を現金で給付することを表明しており、本市でも全額現金支給を望む声が多く寄せられている。

以上のことから、国の方針転換前に議決した補正予算でもあり、国の方針転換に基づき、クーポン券での支給をとりやめ、全額を現金で支給することを求める。」(要旨)

この決議案に対して、「クーポンの使用により子育ての支援に確実につながり、地域経済の回復や活性化が期待できる」、「現金の給付の方が利用しやすく、迅速な支給が可能」などの意見があり、賛成少数で否決しました。(賛否No.2)

決議

■決議の提出について

子育て世帯等臨時特別給付金の全額現金での支給を求める決議
「長期化する新型コロナウイルス感染症の影響に苦し

— 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 —

○賛成 ×反対

賛否 No.	令和3年第5回定例会（12月）	会派・議員名																				賛否の合計		議決結果					
		自由民主党										公明党		改革		絆		敬天会		無所属の会					市民クラブ		日本共産党		防府一番
		青木	上田	牛見	宇多村	梅本	河杉	曾我	田中敏	橋本	藤村	安村	河村	高砂	村木	今津	和田	三原	山田	石田	吉村	久保	森重		田中健	清水	松村	賛成	反対
1	開発行為等の許可の基準に関する条例中改正	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	1	原案可決
2	子育て世帯等臨時特別給付金の全額現金での支給を求める決議	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	4	20	否決

※賛否が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない議案等は、全会一致で可決しました。
※上田議員は議長のため、通常は採決に加わりません。

Q&A

一般質問



12月定例議会では、16名の議員が市政について質問しました。

ここでは議員本人が要約した質問と答弁の一部を発言順に掲載しています。詳細については、市議会ホームページで録画映像をご覧ください。また、3月に会議録を製本予定ですので、市役所1階閲覧コーナー、防府図書館、ホームページで見ることができます。



議会録画映像はこちら



会議録はこちら



アフターコロナへ直面する課題の取組 交通系ICカード、防災教育と地域防災

河村 孝（公明党）

問 アフターコロナの暮らしと経済の立て直しが必要な中、デジタル化や脱炭素社会の実現への取組を強力に推進する必要がある。これは全国の市が一律に直面している課題で、画一的な対応になるおそれもあり、シティプロモーションが重要。直面する課題への取組は。

市長 全国的な取組でもスピード感をもって取り組み、本市の認知度の向上やイメージアップ、ひいてはシティプロモーションにつながる。この努力は、職員モチベーションの向上にもつながる。さらに一つ一つの取組にスピード感を持って取り組むことで本市の魅力を発信する。

問 2022年3月にJR山陽本線の南岩国駅から隣市の徳山駅まで交通系ICカードICOCAエリアが延伸。利便性、観光、福祉面からも、富海駅、防府駅、大道駅、防長交通への早期導入が求められる。今後導入へ向けどのように努めるのか。

市長 中国JRバスの2021年春導入に続き、防長交通も導入に向け準備。県や他市と連携し早期導入に向け努める。

問 防災教育は、子供たちの自らの命を守る力を育む。学校防災は地域防災と一体の取組として重要と考える。地域の防災士との連携で防災意識の継承も可能。コミュニティ・スクールとしての防災教育を問う。

教育長 コミュニティ・スクールの仕組みを活かし、学校・家庭・地域及び関係機関が一体となった地域ぐるみの防災教育の充実・発展を図る。



デジタル化に向けた行政サービスについて！ ◆港の管理について！

山田 耕治（絆）

問 5Gネットワークの構築や公共施設に対するWi-Fi整備など、インフラ整備を計画的に推進すべきでは？

市長 公共施設を中心にWi-Fi整備をしてきた。今後は、公民館へのWi-Fi整備を検討し、機能強化に努めたい。ローカル5Gについては、国の検証結果等を注視する。

問 青少年科学館や文化財資料館等、子ども達が学べる施設も優先順位を上げて、計画的に進めていくべきでは？

総合政策部長 優先順位を考え整備を進めたい。

問 興味を誘う魅力あるホームページへの見直しを、庁内で検討してみても？

総合政策部長 市民の皆様からの意見も踏まえなが

ら、庁内のホームページ担当者と意見交換等を行い、魅力あるホームページになるように取り組んでいく。

問 市が推進している情報アプリやウェブサイト等を集約化し、「防府市の幸せます便利アプリ」として市民等へ情報展開できないか？

総合政策部長 市広報やホームページ等で、情報提供していく。



集約化した便利アプリを
大道公民館で掲示！

問 道路補修や野犬情報等のアプリ導入を推進しては？

総合政策部長 道路補修は、アプリを活用した実証実験を行って具体的に検討している。野犬の情報は、「防府市のメールサービス」で対応したい。

◆ 港の管理について！

要望 市へ、占用許可申請が出ている施設の管理をしていただく中で、市の漁港の仕組みを考えていただきたい。



令和4年度当初予算、中心市街地の活性化について

曾我 好則(自由民主党)

問 令和2年度決算は約19億円の黒字となり、財政をV字回復させた市長の手腕は誰もが認めるところであるが、令和4年度当初予算の編成にあたって所見を伺う。

市長 令和4年度当初予算は、現時点で約17億円の財源不足が見込まれ、補助事業の積極的な導入、緊急防災減災事業債などの有利な起債の活用、駅北公有地の売却、ふるさと納税の促進、競輪事業からの繰入れなど、あらゆる手段で必要な財源確保に努める。

私は、「輝き！ほうふプラン」(第5次総合計画)に掲げる諸施策の展開が本市のまちづくりに繋がると考えており、令和の時代に燦然と輝く「防府のまち」の

形成に繋がるよう全力で予算の編成に取り組む。

まとめ 地方財政で歳入を増やすことは容易ではなく、これまでは歳出を抑えるため、職員数を大幅に削減、基金を取り崩すなど、何とか財政を保ってきたが、池田市政では、歳入を増やせば歳出も増やすことができることを改めて認識できた。

問 本市のまちづくりを進めていく上で、中心市街地の活性化は避けて通れない最重要課題であるが、その中でも、アスピラートやルルサス防府の活性化に今後どのように取り組むのか所見を伺う。

市長 両施設を一体のエリアとして、施設の大規模改修を行い、ライトアップをはじめ、市民ギャラリーの設置、生涯学習の拠点、年金相談センターの移転、駐車場の利便性向上など、市民にとって便利で魅力ある「まちなか」が創出できるよう努める。



第5次総合計画等に謳われているSDGs(持続可能な開発目標: 17の目標、169の個別目標、232の指標)の理念に沿った施策の推進

青木 明夫(自由民主党)

問 地域防災力の向上に向けた防災士の役割は。

市長 防災士養成講座を受講された390人が防災士に認定されている。防災士に期待される役割は、平時では、災害に備えた啓発活動。災害時では、避難情報の伝達、避難誘導、避難所運営がある。今後も、自治会や防災士等連絡協議会と連携し、防災士の知識や技能が発揮できるように支援を行い、地域防災力の向上につなげたい。

問 交通安全の推進に向けた車椅子利用者等の障がいのある人への取組は。

土木都市建設部長 街中の歩道には、視覚障害者誘導用ブロックの設置、既存道路の段差解消や水路の蓋掛

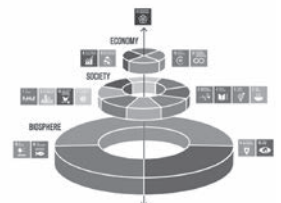
けで歩行者空間の確保、水路の転落防止柵の設置など交通安全施設の整備を行っている。

問 小学生向けの環境副読本作成等による環境教育は。

教育長 小学5年生を対象に作成した環境副読本こども環境白書ほうふ版を社会科授業、総合的な学習の時間等で活用し、環境教育を行っている。

問 地球温暖化対策推進における自治会等の役割は。

生活環境部長 環境基本計画では、市民の取組としてLEDなどの省エネ機器、環境性の高い自動車の選択、太陽光発電システム導入。国民運動としてクールチョイス、緑のカーテン、花いっぱい運動などの緑化活動。ごみ減量化などを挙げており、自治会や町内会の協力で市民運動として展開していきたい。



子供達の健全育成のためのスポーツ施設について投票しやすい環境づくりについて

村木 正弘(公明党)

問 昭和50年に建設されたキリンレモンスタジアム野球場について、多くの方々から様々な要望を受けている。子供達の安全安心のため、健全育成のためにも改修してはどうか。

市長 老朽化が進み、スコアボードやシャワー室更新などの要望を受けている。市民の意見を聞きながら、改修・整備と財源確保に向けて検討をしていく。

問 開放施設の学校の屋内運動場の、バスケットボールゴールの可動部分の危険な箇所やバドミントンコートのポール立てが困難な学校への対応は。

教育部長 屋内運動場は、日常的に点検をしており、

適切に整備、維持管理しながら地域の方々へ開放していきたい。

問 期日前投票所を市役所を中心に増設してはどうか。

選挙管理委員会事務局長 増設については、システムのライセンスなど課題がある。市民の利便性向上のため今後も検討していく。

問 高齢者、障がい者のために、ワゴン車やバスを利用した、中山間地域の移動期日前投票所を導入してはどうか。

選挙管理委員会事務局長 令和4年2月の県知事選では、移動期日前投票所を試行的に開設したい。

問 10代20代の若者への投票の啓発のため模擬投票を行ってはどうか。

選挙管理委員会事務局長 模擬投票を予定していたが、コロナ禍で中止した。移動期日前投票所を市内の高校で開設できないか、検討する。



予防接種への支援、がん検診受診率向上、子育てサロン等への支援について

高砂 朋子（公明党）

問 厚労省は、令和2年10月より子宮頸がんワクチン接種の定期接種対象者へ情報提供をと通知。令和3年11月、積極的勧奨の再開を決定。取組状況と今後の対応は。

市長 令和2年から個別通知、市広報等で情報提供。ワクチン接種は、令和元年度16回、令和2年度162回、令和3年度（10月末）167回と増加。令和4年4月からの個別勧奨に向けて周知を図っていく。

問 おたふくかぜは、ウイルスの感染力が強く、脳炎、難聴、精巣炎等の合併症が多い感染症。県内5市3町で予防接種を公費助成。本市も公費助成を検討しては。



デジタル推進を足掛かりに防府市を日本一の町に！

牛見 航（自由民主党）

問 日本は他の国が直面していない「少子高齢人口減少社会」などを抱える「課題先進国」である。その課題から脱却し、地方から日本を活性化させていく上で最も大きな武器となるのがデジタル推進であると考えている！本市のこれまでと今後の取り組みについて伺う。

市長 社会全体が大きく変わろうとしている中で今後さらにデジタル化を推進するため国・県・市そして民間が一体となって柔軟に取り組むことが重要である。市民の皆様全てがデジタル化の恩恵を享受できるよう、人に優しいデジタル化に取り組んでいく。

要望 我が市はこのままでもこれから多くの「山口県

市長 防府医師会からは、1歳の1回目接種が大切と聞いている。1回目の接種にかかる支援を検討したい。

問 コロナ禍の受診控えが病気の早期発見を遅らせ、重症化を招くことが懸念されている。がん検診や特定健診などの受診率向上のさらなる取組が必要では。

健康福祉部長 今後、特定健診の集団健診をする公民館数や土曜日の健診、全てのがん検診を同時に受けることが出来る検診等の回数を増やすこととしている。

問 平成29年、子育てサロン等への補助金制度を提案。同31年度から制度が実施されているが、支援の拡充が必要では。中心市街地活性化が図られる中、街なかの子育てサロンのニーズも高まっている。その対応は。

市長 3年間の検証をした上で拡充を図りたい。街なかの子育てサロンが拡充される際は協力・支援したい。

その他の質問項目 ◆人財活躍応援事業の充実

1番」のシェアを多く獲得していくことと思う。しながら日本一を目指せるポテンシャルを秘めた防府、小さな都市が大きな都市に勝つためには選択と集中、そしてNo. 1戦略が必要。

私が防府市長だったらデジタル推進をもって日本一を目指す。本市には多くのデジタル分野に明るい人材を輩出するなど前後100年を見てもこれだけ多くのチャンスとタイミングが重なることはない！その取り組みを迅速に進めて頂きたい。



第2宇宙作戦隊が防府北基地に配備へ住民説明会の開催を！

田中 健次（市民クラブ）

問 「第2宇宙作戦隊」が令和4年度中に、防府北基地に新設される防衛省の方針だが、市執行部は防衛省からどのような説明を受けているのか？

総務部長 人工衛星の安定的利用の確保のため、20名程度の規模で編成され、人工衛星への妨害電波を電磁妨害状況把握装置により把握するとの説明です。

問 部隊の配備により、防府北基地が攻撃の対象になるのではとの市民の不安の声が聞かれるが？

総務部長 第2宇宙作戦隊は、人工衛星への妨害電波把握の役割を担い、相手方に脅威を与えないので、攻撃対象となる可能性は高まらなと聞いています。

問 住民説明会の開催を防衛省に求めるべきでは？

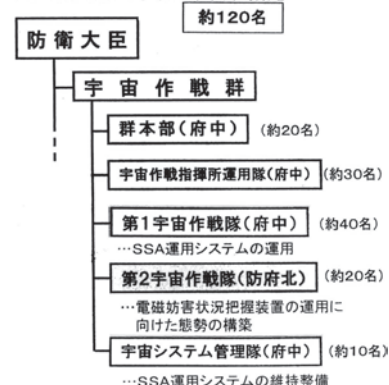
総務部長 防府北基地に配備されるものは、可動式の電波受信用アンテナや妨害電波検知時に電波を発信するレファレンスアンテナなどと聞いています。その発信電波は、人体や周囲への影響がないと聞いており、住民説明会の開催を求めることは考えていません。

その他の質問項目

◆国民健康保険料の引き下げが可能な国保財政だ

◆新年度予算は骨格予算にすべき

【宇宙作戦群(令和4年度改編)】



防衛省資料から



消防団員の確保と処遇改善について

石田 卓成（敬天会）

問 消防団は、地域の消防防災体制の中核的な役割を任う存在である。昭和29年には、全国で約200万人の消防団員が活躍していたが、令和2年4月には、約81万8千人と半分に減少している。

本市においても、半減とまではいかないものの、年々減少しているのは事実で、今後、その減少スピードがますます加速していくのではないかと心配している。

消防団員には年額報酬が支給されているが、昨年度に総務省消防庁が発表した調査結果では、全国で国の示す基準額の36,500円を支給している市町村の割合は28%しかなく、条例で定める平均の額は30,925円と、

かなり抑えられた額となってしまうている。

そうした中であっても、本市においては、地域防災の中核を担う消防団の充実と、消防団員の処遇改善に取り組み、令和3年度当初予算において、他市に先駆けて団員の年額報酬を国の示す基準額に引き上げるなど、市民の安全・安心確保のために、消防団員の処遇改善にも力を注がれている。

少しでも団員数の減少に歯止めをかけて頂くべく、今後は出動手当の引き上げなども考えて頂きたいと願っているが、消防団員の更なる処遇の改善について、どのようにお考えか。

市長 消防団員の確保は大きな課題であることから、令和4年度からの出動手当の見直しに向けて、しっかりと取り組んでいきたいと考えている。



空き家対策について

久保 潤爾（無所属の会）

問 平成27年から令和元年にかけて、市内の空き家は834戸増えている。執行部の日々のご努力で解決に至った案件もあるが、所有者不明あるいは相続人不在の空き家は行政が指導・助言を行うことができず、将来は必ず、周囲に危険を及ぼす「特定空家」になっていく。本市にこのような空き家は何件あるのか。

土木都市建設部長 35件ある。

問 このような空き家問題の解決方法として、相続財産管理人制度の活用と略式代執行が考えられるが、これらの制度に対する考えは？

土木都市建設部長 相続財産管理人制度は、安全・安心

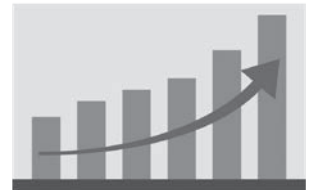
なまちづくりにつながる一方で、空き家以外の全ての財産の管理・処分や、期間・経費の面で様々な課題があり、制度の活用について慎重に検討したい。略式代執行は、緊急的な措置であり、抜本的な解決には至らない。

問 市民生活の安全と、これらの制度における費用負担等の問題点を比較し、どちらを優先していくのか？

土木都市建設部長 まず市民の安全を最優先に考えるべきだが、制度の諸課題を慎重に整理検討していきたい。

問 周囲に危険を及ぼすこのような空き家に関し、費用負担等に躊躇せず積極的に取り組むべきではないか。

市長 市民の安全が第一であり、様々な制度を活用しながら、しっかりとその状況に応じて適宜判断していく。



防府市の空き家は年々増えており、令和元年現在で2372戸の空き家がある



生き生きと学び、市民が活躍できる各生涯学習施設の今後の利用改善は？

松村 学（防府一番）

問 生涯学習施設のアンケートで、全ての施設に対して、市民の利用回数と満足度が低くなっているが、各施設の利用改善のための取組みは？

市長 文化福社会館の一部機能を駅前のルルス防府に移転し、生涯学習の拠点施設を整備することにより、街の賑わいに繋げる。また今後改修する文化財郷土資料館とソラールを一体で利用できるようにする。

教育部長 公民館機能を強化するため、行政へのオンライン相談に加え、さらなる行政サービス拡充に向け、検討を進めている。

問 地域協働支援センターや市民活動支援センターの

利用改善のため、市民から要望の高い、子育て支援や高齢者の生きがい活動支援、パソコンやスマートフォン教室など取り組んでいただきたいが？

地域交流部長 インターネット環境が整っているの、今後取組みを検討する。

要望 過去に健康増進のため、市民プールの一部分を年中利用できる温水プールに再建できるよう議会で決議したが、次期計画に盛り込んで欲しい。また、市公会堂大ホールの席数は1800席から1400席弱に減るとともに、体育館も同様、興行者が使用すると使用料が跳ね上がり、コンサートやスポーツイベントが開催しづらいと聞くと、料金を見直し、魅力あるアーティスト等を招致し、若い人から年配の人が楽しめるような取り組みをして欲しい。



ルルス防府



中学校卒業までの医療費無料化は国がやること？

清水 力志（日本共産党）

問 文科省は「これからの学校施設の姿」の1つとして、1人1台端末に対応した教室の拡大をあげている。市の見解は。

教育部長 児童生徒が使う新規格の机は中学校で配備完了、小学校は令和3年度中に完了予定。授業の際には机の上を整理するなど、教室を広く使う工夫をしている。教室拡大については国の動向を見て検討する。

問 全国で9割以上の自治体が実施している、子ども医療費無料化を中学校卒業までに拡充を。

健康福祉部長 これまで他市にはない子育て支援事業を実施している。中学校卒業までの医療費無料化は本

来、少子化対策として国が統一して実施されるべきものと考えている。

問 原油高騰が市内経済活動に大きな影響を及ぼしているが、その対策は。

産業振興部長 中小・小規模事業者等総合窓口を令和4年3月まで延長する。また緊急の企業訪問を実施。今後も関係機関や市内事業者らの意見を聞き、必要な対策を検討していく。

問 生活困窮者への支援は。

健康福祉部長 国による10万円の支給も速やかに届けられるようにした。今後も支援制度の周知や活用支援を図る。



子ども医療費無料化拡充を求める署名を健康福祉部長に提出する市内女性団体代表（11月24日）



カーブミラー設置条件など要綱を見直す子どもたちは増えたが遊び場は路上…？

三原 昭治（絆）

問 事故防止対策のカーブミラーは、市の設置要綱で沿線に5戸以上の住宅があることが条件となっていることから、満たないために危険個所にもかかわらず設置できないケースがあり、市民から見直しや緩和の声が上がっているが、対処すべきでは。

市長 市民の命が第一であり、危険が高いと判断できる箇所については沿線に5戸以上に縛られることなく、優先的に設置が可能となるように要綱を見直す。また、市民の要望に対して、迅速に対応できるよう発注方法や時期の見直しに取り組む。

問 近年の核家族化や市街化調整区域の規制緩和で、

特に右田などの周辺地域では目覚ましい勢いで住宅が急増。これに伴って、子どもたちも激増していることから、子どもたちが安全で安心して遊べる公園や広場の整備が求められており、対策を講ずるべきでは。

土木都市建設部長 大平山山頂公園、桑山公園などの既設公園や開発公園などを利用してほしい。

問 身近に遊び場がなく、路上が遊び場となっていることから問題、トラブルが発生しているが対応は。

教育部長 学校では、路上で遊ばないように、ルールを守るように指導している。

生活環境部長 路上で遊ばないように自治会に回覧チラシを配布した。

問 少子化が多子化となっている喜ばしい現状だが、その子どもたちは、どこで遊ばばいいのか。

土木都市建設部長 広場や公園……………？



駅周辺の駐車場の利用料金一本化 犬、猫等の適正な飼育マナーの向上、去勢・避妊手術費用の助成

藤村 こすえ（自由民主党）

問 第5次総合計画「輝き！ほうふプラン」には市営中央町駐車場を含む駅周辺の駐車場について、利用料金の一本化に取組むことになっているが、現在の検討状況と今後の方向性は。

市長 駅周辺まちづくり協議会においても、様々なご意見をいただいている。市営駐車場についてはルルサス駐車場やイオン駐車場と同様に、最初の1時間を無料とするかたちで料金の統一を進めている。またルルサス内の防府図書館の利用者についても、無料時間の延長を検討している。

問 犬や猫等の適正な飼育マナーの向上や去勢・避妊

手術の助成について市の取組みを伺う。

生活環境部長 注意喚起として市広報やホームページへの掲載、自治会を通じたチラシの配布、看板の設置等を行っている。また、山口環境保健所防府支所と連携し、飼い主等に対して直接指導する場合もある。去勢・避妊手術費用の助成は、一頭あたり3,000円を補助している。平成27年の制度創設以来、約1,850匹に対して補助を行っているが、野良猫に対する補助は約70匹にとどまっており、制度の対象を個人から団体に拡充して対策を強化することも検討したい。

要望 人と犬や猫が共生でき、地域の環境衛生と近隣トラブルが軽減できるような事業にしていきたい。





地域交通について・市有施設の遊具について・新型コロナウイルス関連等、市民への情報提供について

和田 敏明（改革）

問 交通弱者等に対し、停留所方式ではない、どこでも乗り降り出来る利用勝手の良い交通サービスの提供について、福祉都市宣言をしている本市としてどのようにお考えか。

地域交流部長 協議の場を設け、地域主体で取組みを議論し、法定協議会に諮りながら移動手段の確保に努める。

要望 地域任せにしないことを要望。

問 全小学校や公園等の遊具を点検したところ、危険な状態の遊具を多く確認した。遊具のチェック方式や点検周期や対応等を尋ねる。

教育部長 文部科学省のマニュアルを参考に、修繕等

の対応をしている。

問 劣化と思われる遊具にペンキが塗られていたが、事前に安全点検をしたのか。

教育部長 （明確な回答なし。）

問 改めて今後の対応を具体的にどのようにするのか。

教育部長 点検や修繕を行い安全・安心に努める。

要望 危険遊具の早急な改善等を要望。

問 県外等への移動制限やイベント等の開催、会食の人数等、感染者数が減少した状況下での感染症防止対策について、正しい情報が市民に提供されて、同じ情報が全市民に届いているのか。

市長 県の公表後、市のホームページや防災メール等を活用し伝えている。

意見 3密等、守れていないのは行政と思う。我々こそが気を引き締めるべき。



山口県漁協と連携した水産振興の取組
創業支援拠点の整備

安村 政治（自由民主党）

問 コロナ禍で低迷した水産物の需要拡大や潮彩市場を中心とした水産市場エリアの活性化にどう取り組むか。

市長 藻場の再生に取り組み、海藻が二酸化炭素を吸収するブルーカーボンと呼ばれる脱炭素化を進めたい。県漁協の計画では、防府地方卸売市場は国の補助事業を活用する。コロナ禍で水産物の需要低迷や出荷の減少など、先行きの不安も聞いている。県漁協の新たな販路開拓などにも県と連携しながら支援する。

問 令和4年度にデザインプラザHOFUで整備が予定されている創業支援拠点施設の方向性と運営方針は。

市長 中小企業サポートセンター「コネクト22」はデ

ザインプラザへ移転する。創業部分の体制を強化し、各分野の専門家と連携し、きめ細やかな伴走支援をする。新設のコワーキングスペースで創業希望者と市内事業者との交流を促進し、新事業展開などの相乗効果を生み出す役割も果たす。オンライン会議やテレワークなどがスムーズにできる5Gなど高度な通信環境も整備する。県のDX推進拠点「Y-BASE」と連携し、相談など市内事業者のDX化を後押しする。飲食店起業に向けてキッチンスペースを整備し、フードコンサルタントによる食材の仕入れやメニュー開発支援もする。レンタルオフィスも用意し、コワーキングスペースで法人登記できるようにもする。利用料金は創業支援の観点から、できるだけ低価格にしたい。北側に隣接のサンライフ防府の駐車場を改修し、その一部をデザインプラザ用とする。

会事務局までお問い合わせください。

手話通訳による傍聴

市議会では、手話通訳を行うことにより、聴覚障害者の方にも開かれた議会を実現することを目的とする「議会手話通訳実施要綱」を定めています。

本会議で手話通訳をご利用いただく際には、事前に手話通訳の方を配置する必要がありますので、傍聴希望日の7日前までに、手話通訳申込書に必要事項を記入の上、議会事務局に提出くださるようお願いいたします。手話通訳の方が配置できない場合は、お断りすることがありますので、予めご了承ください。

手話通訳申込書は、議会ホームページからダウンロードできます。提出方法は、持参のほかにも、Fax、E-Mail、郵送が可能です。

詳しくは、議会ホームページをご覧ください。議



手話通訳の様子

所 管 事 務 調 査

教育民生委員会

(11月4日開催)

【第3次生涯学習推進計画(学ぼうやプラン3)について】

少子高齢化社会や人口減少、人生100年時代、超スマート社会などの新しい時代が到来するため、生涯学習・社会教育の在り方が求められている。これらを踏まえ、本市の生涯学習施策を計画的に推進するため新たな指針として策定する。

文化福社会館の一部機能をルルサス防府へ移転し、文化を通じた駅前のにぎわいの創出や新たな魅力の創造に努め、公民館においても市役所窓口とオンライン接続により行政相談や地域情報の発信等、窓口機能の強化を図り、デジタル社会に対応した学習機会の拡充に努めることを本計画に記載する。

◇主な質疑

問 学校等で行われる研修会等での熟議じゅくぎは、どのような意義があるのか。

答 熟議じゅくぎにより各学校が抱える問題等を地域の方と考
え、学校づくりを考えていく。地域とともにある学校
ということで意見を積極的に頂きたい。

◇意見・要望

・教育委員会が管理していない施設においても生涯学習に関する講座が行われているので、これらも計画に含めるべきではないか。

・大学・企業との連携についても計画に入れてはどうか。



【環境基本計画（第3次）について】

世界ではSDGsや脱炭素社会の構築が叫ばれてお

り、日本においても2050年にカーボンニュートラル[※]の実現の流れがある。その中で、プラスチックごみ対策、食品ロス対策、気候変動対策といった新たな環境改善への対応を踏まえながら計画の見直しを行う。

◇主な質疑

問 環境について、子ども達への啓蒙活動が必要と思われるが、どのように考えているのか。

答 環境副読本を作成し、小学5年生に配付している。また、今後も学校等から意見を聞きながら、子ども達にどういったものを伝えていくか検討したい。

◇意見・要望

・バイオマスプラスチックやプラスチック削減について、事業者の取組を計画に入れるべき。

・関連する組合や団体等にもヒアリングを行うべき。

・環境問題に取り組んでいる企業についても記載したほうがよい。

【ごみ処理基本計画について】

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、ごみ減量・リサイクルの推進など、本市における一般廃棄物に関する考え方や目標、基本方針等を定めている。

事業系ごみの排出量は順調に減少している一方、家庭系ごみについては資源ごみを除いた一人当たりの量はここ数年増加傾向にあり、ごみそのものを出さないための施策に重点的に取り組む必要がある。

◇意見・要望

事業者もペットボトルや古紙を回収しているので、事業者の回収状況も把握した方がよい。

カーボンニュートラル：温室効果ガスの排出量と森林などによる吸収量を均衡させること

産業建設委員会

(11月5日開催)

【創業支援等について】

デザインプラザHOFUに創業支援の拠点を整備し、「強みを生かした産業力の強化」として、さまざまな創業支援をパッケージ化した「防府市創業支援モデル」を構築し、防府商工会議所、中小企業サポートセンター「コネクト22」、金融機関等と一体となって創業支援を行う。

◇主な質疑

問 キッチンスペースの用途は。

答 飲食店の創業を目指す方に半年から1年程度お貸しし、試験的に営業ができるスペース。

◇意見・要望

デザインプラザHOFU内にチャレンジショップを出店できるスペースを検討してほしい。

閉館後もレンタルオフィスへの出入りが可能となるよう、柔軟に対応してほしい。

【防府市住生活基本計画について】

住生活基本法に基づき、住生活の安定の確保と向上の促進に関する施策を総合的・計画的に推進するための指針として策定する。

◇主な質疑

問 子どもが安心できる防犯対策や、自治会の活動支援など、他の部署との連携はできているのか？

答 庁内に検討委員会を立ち上げ、他の計画と整合が取れているか確認し、庁内一団となって作成している。

会派・議会運営委員会・議会改革推進協議会名簿

会 派 名	人数	所 属 議 員 名 (◎代表者)	議会運営委員会 (任期1年) (◎○正副委員長)	議会改革推進協議会 (任期2年) (◎○正副会長)
自由民主党	11	◎田中敏靖 青木明夫 上田和夫 牛見 航 宇多村史朗 梅本洋平 河杉憲二 曾我好則 橋本龍太郎 藤村こずえ 安村政治	◎橋本龍太郎 ○梅本洋平 宇多村史朗 河杉憲二 曾我好則	宇多村史朗 梅本洋平 河杉憲二
公明党	3	◎高砂朋子 河村 孝 村木正弘	高砂朋子	○河村 孝
改革	2	◎和田敏明 今津誠一	今津誠一	和田敏明
絆	2	◎山田耕治 三原昭治	山田耕治	山田耕治
敬天会	2	◎石田卓成 吉村祐太郎	石田卓成	吉村祐太郎
無所属の会	2	◎久保潤爾 森重 豊		◎久保潤爾
市民クラブ	1	◎田中健次		田中健次
日本共産党	1	◎清水力志		清水力志
防府一番	1	◎松村 学		松村 学

※会派は、主として政策に関して同一の理念を共有する議員が集まってつくる集団です。この会派を中心に議会活動をしています。
 ※防府市議会では、現在9の会派が構成されています。

常任委員会名簿 (任期2年)

委員会	委員数	所属委員名 (◎委員長、○副委員長)	所管事項
総 務	8	◎青木明夫 〇石田卓成 今津誠一 宇多村史朗 梅本洋平 高砂朋子 橋本龍太郎 三原昭治	防災・企画・財政・税務・文化・スポーツ・観光・消防・選挙など
教育民生	9	◎牛見 航 〇村木正弘 上田和夫 河杉憲二 久保潤爾 田中健次 藤村こずえ 吉村祐太郎 和田敏明	戸籍・環境・健康・福祉・教育・文化財など
産業建設	8	◎河村 孝 〇森重 豊 清水力志 曾我好則 田中敏靖 松村 学 安村政治 山田耕治	産業・道路・上下水道・競輪など
予 算	24	◎曾我好則 〇吉村祐太郎 議長を除く全議員	一般会計予算

特別委員会名簿

委員会	委員数	所属委員名 (◎委員長、○副委員長)	設置目的
総合交通 体系調査 特別委員会	13	◎河杉憲二 〇森重 豊 青木明夫 石田卓成 上田和夫 宇多村史朗 清水力志 高砂朋子 田中敏靖 松村 学 三原昭治 村木正弘 和田敏明	主要幹線道路網整備、海上交通、交通弱者に配慮した生活交通及び環境に配慮した交通手段も含めた総合交通体系の諸問題について調査研究する。
デジタル 推進調査 特別委員会	12	◎牛見 航 〇河村 孝 今津誠一 梅本洋平 久保潤爾 曾我好則 田中健次 橋本龍太郎 藤村こずえ 安村政治 山田耕治 吉村祐太郎	国や県が積極的に進めている自治体のデジタル推進に伴い、関連分野が多岐にわたるデジタル化について、本市における諸問題を調査研究する。

※特別委員会は、必要に応じ特定の事項を審査するために設置される委員会であり、その問題の審査が終われば、委員会は消滅します。
 なお、決算の認定時には、一般・特別会計決算特別委員会、上下水道事業決算特別委員会が設置されます。



11月

- 4日 教育民生委員会（所管事務調査）
- 5日 産業建設委員会（所管事務調査）
- 16日 議会改革推進協議会
- 24日 勉強会
- 25日 議会運営委員会
- 30日 12月定例議会開会
議会広報編集委員会

12月

- 3日 本会議（一般質問）
- 6日 本会議（一般質問）
- 7日 本会議（一般質問）
- 8日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
- 10日 予算委員会（全体会）
全員協議会
- 13日 総務委員会
- 14日 教育民生委員会
- 15日 産業建設委員会
- 22日 12月定例議会閉会
全員協議会
議会広報編集委員会

1月

- 13日 議会広報編集委員会
会派代表者会議
- 17日 議会モニターとの意見交換会
- 19日 議会広報編集委員会
会派代表者会議

※議員研修会や行政視察及び行政視察の受入れは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

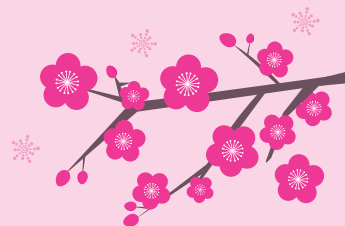
3月定例議会の予定

- 2月24日（木） 本会議（開会）
- 25日（金） 予算委員会全体会
常任委員会・予算委員会分科会
（総務・教育民生・産業建設）
- 28日（月） 予算委員会全体会（採決）
- 3月2日（水） 本会議
- 4日（金） 一般質問
- 7日（月） 一般質問
- 8日（火） 一般質問
- 9日（水） 一般質問
- 11日（金） 予算委員会（全体会）【新年度】
- 14日（月） 総務委員会・予算委員会総務分科会【新年度】
- 15日（火） 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会【新年度】
- 16日（水） 産業建設委員会・予算委員会産業建設分科会【新年度】
- 18日（金） 予算委員会（全体会・採決）【新年度】
※午後1時開会
- 24日（木） 本会議（最終日）

会議の開会時刻は、午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182



編集後記

本号から、議会広報編集委員会のメンバーが交代いたしました。

本市の更なる発展に向け、より良い議会づくりを目指してまいりますので、これまでと同様に皆様からのご意見、ご提言をお寄せいただければ幸いです。

令和4年の議会だよりでは、令和3年に引き続き、市内の高等学校の活動をご紹介します。

広報委員会といたしまして、現状に満足することなく、市民の皆様にとって親しみやすい議会だよりの発行に努めてまいります。

議会広報編集委員会（◎委員長、○副委員長）

◎和田敏明 ○宇多村史朗 石田卓成 上田和夫 河杉憲二 村木正弘



新型コロナウイルス感染防止のため無言で撮影しました